HADANO MEISUI
ROTARY CLUB WEEKLY

例会場　秦野市平沢 2550-1　秦野商工会議所内　TEL(0463)81-1355
事務所　秦野市平沢 2550-1　秦野商工会議所内　TEL(0463)81-1355
例会日　毎週木曜日　12 時 30 分～13 時 30 分
会　長　米山君夫　　幹　事　梅原正美　　会報委員長　北村まり子

Be a gift to the world

世界へのプレゼントになろう

2015 年～2016 年度国際ロータリー会長
K.R. ラビンドラン

第１４７０例会　２０１５年１１月２６日(木)(曇)

司　会　梅原正美幹事
点　鐘　米山君夫会長
合　唱　「手に手つないで」(山谷洋子さん)
唱　和　「四つのテスト」(諸星常平君)
祝結婚記念日　中島さん(１１／２７)
祝誕生記念日　＜会員＞諸星(常)君(１１／２８)　＜奥様＞大屋君(１１／２８)　仲野君(１１／２９)
祝創業記念日　諸星(道)君(１２／１)

会長の時間

○ 河野治男会員より　出席免除願いが提出されました。期間はH２７年１１月１２日～H２８年１１月１３日までの一年間。理由は体調不良のため、です。

○ 私の兄は８９歳。１１月の初旬に大山に行きましたが、ケーブルカーが故障して動かず、いつでも乗れる券を頂いて来ました。それを私が貰い、１１／２３に紅葉を見ながら行ってきました。紅葉は見事でした。今月末までが見ごろのようです。大山には大山講があり、鎌倉時代から江戸時代に雨降り山ともいわれ、大山詣出で活発で雨乞いの為に沢山の人がお参りしたと言われています。頼朝の妻、北条政子は生涯で三度、大山参りをしています。江戸から大山まで３泊４日で行ったそうです。伊勢講は一生に一度いかれるかどうか、と言われていましたが、大山講は身近な旅行だったようです。大船宿で一泊し、鎌倉や江の島を見学しながら大山参りをしたと記述が残っています。日の出と共に起き、暗くなれば寝るという生活で、一日１０里(４０ｋｍ)歩いたと言われています。大山迄は７５ｋｍ～８０ｋｍ。今は交通が便利になり、良い時代になっています。昔は長屋(６畳一間、トイレ、炊事場は共同)に住んでいたのが一般で、講参りには皆でお金を出し合ってお札を買ってきてもらったようです。

○ 秦野ＲＣで受けている交換学生のホストファミリーを今井亜子さんのご家族が引き受けて下さいました。

○ 秦野３クラブ合同新年会(１／２１(木))は秦野名水ＲＣが担当です。親睦委員会の皆様、宜しくお願い致します。

幹事報告

[受付文書]

○ 第２６４０地区を正常化する会より、便りが届きました。

○ 水海道ＲＣ会長、海老原良夫会長より、水害御見舞御礼が届きました。

会員数	40 名
出席数	30 名
出席率	76.92%
前々回の修正	66.67%

メークアップ	[事前]　大屋君　神崎君　桐山君　瀬戸君　高橋君　中島君　諸星(道)君　山本君(ガバナー補佐ゴルフコンペ)

本日のプログラム	１２月３日 ○　卓話　諸星(利)君 ○　理事会

次週のプログラム	１２月１０日 ○　年次総会

○　国際ロータリー日本事務局経理室より、２０１５年１２月のレートのお知らせ　１ドル＝１２０円

○　秦野商工会議所より　Ｈ２８年新年賀詞交歓会開催について

日時　１／６(水)
受付　１０：３０
開始　１１：００

場所　秦野商工会議所　１Ｆ　多目的ホール

[本日の配布物]　ロータリーの友

スマイル報告

○　米山君夫君　「今朝は今年一番の冷え込みでした。これから毎日寒い日がくるんですね。風邪をひかないように注意しましょう。スマイルします」

○　梅原正美君　「今月も残り４日となりました。来月は半期を振り返って頑張っていきますので、宜しくお願いします」

○　前　肇君　「スマイルします」

○　諸星常平君　「誕生祝いありがとうございます。６３歳になります」

○　仲野亜津子さん　「主人のお誕生祝いありがとうございます。やっと同じ年齢になりました」

○　原　郁夫君　「スマイルします」

○　西村隆之君　「スマイルします」

○　北村まり子さん　「ご無沙汰しております」

○　加藤一也君　「スマイルします！」

○　吉田久美子さん　「雨上がりの山々がきれいですね。来週は会議がある為欠席します」

合計 24,000 円

委員会報告

○　プログラム委員会　淵脇美代子委員長

１２月の例会予定について

１２／３(木)　　卓話　諸星(利)君　理事会

１２／１０(木)　年次総会

１２／１７(木)　夜間例会「家族親睦クリスマス会」１２

１２／２４(木)　卓話　中西君

１２／３１(木)　休会

○　会報・雑誌・ＩＴ委員会　北村まり子委員長

本日、ロータリーの友が配布されました。是非、お読みください。

卓話

「ロータリー財団に因んで」

兒玉秀夫君

今年度のＲＩ会長のテーマは「世界へのプレゼントになろう」です。「地位や身の上にかかわらず、才能、知識、能力、努力、そして献身と熱意等、誰でも与える事の出来る何かを持っているはずです。私たちはロータリーを通じてこれらを世界にプレゼントする事で誰かの人生、そして世界に、真の変化を起こす事が出来るはずです」と言っています。この活動の中でロータリー財団では「ＥＲＥＹ」(Every Rotarian　Every　Year)、毎年全てのロータリアンが年次基金へ寄付する事で、ロータリー財団の活動をしましょう！という寄付による参加を呼びかけるメッセージです。

年次基金とは“ロータリー財団”の活動を支える重要な資金です。

① 非営利団体であり、ロータリアンをはじめ、より良い世界を築こうというビジョンを共有する支援者の自発的な寄付のみによって支えられています。「ロータリアンが世界で健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済する事を通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにする」という使命を持ち、国際ロータリーの目的を推進するための単独の信託期間として全資産を維持、投資、管理、運営している、ロータリー活動になくてはならない重要な財団です。そのロータリー財団の活動を支える最も重要な資金が「年次基金」であり、「ＥＲＥＹ」、つまり、「Every　Rotarian　Every　Year」はその「年次基金」への寄付を呼び掛ける大切なメッセージであるのです。

② Every　Rotarian「クラブのメンバー全員が寄付する気持ち」を Every　Year「毎年、表しましょう」ということです。ですから、クラブの会員全員が必ず毎年、世界の困った人たちを救うプログラムに協力をする気持ちを寄付という形で表しましょうということなのです。その平均が１００ドル以上になったクラブが表彰されます。また、「財団の友」クラブも表彰されています。こちらはクラブ会員全員が１００ドル以上の寄付をしたクラブに対して送られます。毎年、地区・研修協議会の全体会でこの両方の表彰が行われています。当地区では一人２００ドルを掲げていますので、宜しくお願い致します。ロータリー財団の年次基金の特徴は、寄付金を３年度の活動に利用することです。これにより、ロータリアンは寄付額が確定した後で、予算とプロジェクトの計画に時間をかける事が出来ます。一方、財団はその間、寄付金を投資し、その収益により管理運営費と寄付増進費をねん出しています。

年次基金には、シェアや６つの重点分野

●平和と紛争予防／紛争解決
●疾病予防と治療
●水と衛生設備
●母子の健康
●基本的教育と識字率向上
●経済と地域社会の発展
などの選択肢があります。
シェアを選択した場合は５０％がＤＤＦ(DistrictDesignatedFund 地区財団活動資金)、残りの５０％がＷＦ(WorldFund 国際財団活動資金)となります。ＤＤＦは寄付者の地区で使途を決める事が出来、クラブが実施する奉仕プロジェクトに利用できるようになっています。
「ＥＲＥＹ」によって集められた大切な資金は、以上のような仕組みを経て、７大陸にある１６０以上の国や地域で行われている財団プログラムの主要な資金源となっています。

③ 「年次基金」への寄付は全て、質の高いロータリアンの奉仕プロジェクトへの支援に有効に活用されているのです。あなたの年間１００ドルの寄付で、ケニアの 2 人の子供の学費と教材費を賄う事が出来るのだという事を忘れないでください。
「ＥＲＥＹ」を通じで毎年１００ドル以上を寄付した人は、自動的に「財団の友」会員となります。1,000 ドル以上を寄付した人は、ポール・ハリス・フェローとなります。
ロータリーに関係する全員は、ロータリー財団の恩恵を受けています。したがって全員で財団を支えなければいけません。「ＥＲＥＹ」はロータリアンの使命であると言っても過言ではありません。
第２７８０地区の寄付状況については、達成クラブは茅ヶ崎ＲＣ以下１９クラブでした。秦野名水ＲＣは第二位。寄付“０”者が一人も居なかったクラブは、秦野名水以下９クラブになります。今期は“０”の方をなくすように取り組んで頂きたいと存じます。

ポリオ･プラスでは､ナイジェリアが９月に０になり、残りはパキスタン、アフガニスタン、の二カ国になりました。引き続き、皆様のご協力を宜しくお願い致します。

○ 酒井健一地区Ｒ財団監査委員会委員
秦野名水ＲＣはＲ在団への寄付は全員が協力して下さっています。また、ベネファクター(一人１，０００ドル)が必ず一名協力して下さいます｡そして､原　郁夫君が毎年、多額の寄付をして下さっています。
毎年、会員一人あたりの寄付が多いクラブとして地区大会で表彰を受けています。
古谷・諸星(道)年度(２０１４～１５年度)では、地区補助金を申請し、「さくらんぼ狩り」の事業を行いました。
申請基準が厳しいところがあるので、見直しを検討されています。

○ 古谷スミ子直前会長
「さくらんぼ狩り」についての申請は酒井さんがしっかり見て下さり、補助金が頂けました。